

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①オリエンテーション ②数値情報を処理してみよう ③処理した情報をわかりやすく工夫して伝えよう ④京都・奈良を紹介するプレゼンテーションを作ろう ⑤完成した作品をお互いに評価してみよう ⑥動力を有効に使った、動く製作物を考えてみよう ⑦動力の伝達方法について検討してみよう(車いすの動く仕組みを含む) ⑧日常生活で目にする機構について考えてみよう	15	プレゼンテーション ソフトウェアを活用し次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア プレゼンテーション ソフトウェアの仕組みを理解させる。 イ 自ら課題を設定し、プレゼンテーション ソフトウェアを活用し発表作品を製作する。 ウ 製作作品の相互評価等を参考に、改善及び修正をする。 動力を有効に使った、動く製作物を作成させる ア 動力の伝達方法について検討させる イ 日常生活で目にする機構について考えさせる	・プレゼンテーション ソフトウェアの仕組みを理解し、発表作品を製作する。 ・動力の伝達方法について検討する ・日常生活で目にする機構について考える	・問題を見いだして課題を解決する。 ・過程や完成状況、相互評価を参考に改善及び修正について考えている。 ・製作過程の見通しが持てている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・他人の作品を的確に評価することができる
社会の発展と情報の技術 ①情報の技術の最適化 ②これからの情報の技術	3	(4)これからの社会の発展と情報の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。	・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・社会の変化に応じ、柔軟に課題を解決する能力が育成できている

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○幼児の心身の発達  ○幼児と遊び	11	○幼児の発達と生活の特徴が分かり、家族の役割、遊びの意義について理解する。 ○幼児とのよりよいかかわり方について考え、工夫する。	○幼児の発達と生活の特徴が分かり、家族の役割、遊びの意義について理解している。	○幼児の関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○家族・家庭や地域との関わり	3	○家族の互いの立場や役割が分かり、協力し、家族関係をよくすることについて理解する。 ○家庭生活と地域、高齢者について知り、関わり方を理解する。	○家族の互いの立場や役割が分かり、協力し、家族関係をよくすることについて理解している。 ○家庭生活と地域、高齢者について知り、関わり方を理解している。	○家族関係をよくする方法及び高齢者などの地域の人々と関わり、協働する方法活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○消費者被害と消費者の自立	3	○売買契約の仕組み、消費者被害の背景と対応について理解し、情報の収集・整理が適切にできる。 ○物資・サービスに必要な情報を活用して購入について考え、工夫できる。	○売買契約の仕組み、消費者被害の背景と対応について理解し、情報の収集・整理が適切にできる。	○物資サービスの購入や自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入や消費者の権利と責任について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。